



木を覚えるための取組み

活動日：平成21年11月21日（土）

今回の活動では、ネザサの刈取りや倒木の処理に加え、木のネームボードの設置にも取り組みました。

まずは、専門家に植物の特徴や見わけ方を教わり、活動地に多くの種類の木が生育していることを再認識しました。



植物の名前や特徴を記録

続いて、名前を書いたボードを木にかけていきました。

これで、実物を見たり、触ったりして、木の特徴をつかむことができます。植物に詳しくなくても、伐採する木や残す木を覚えることができそうです。



木の名前を丁寧に記載

ネザサの刈取りで林内がスッキリするとともに、ネームボードを設置したことで、見栄えのする森になりました。手入れしている実感がわき、活動地への愛着がさらに強くなりました。

今後、木の名前を覚えるなど、楽しみながら森の手入れができそうです。



ネームボードを設置した木々